

Animals,

Animals,

Animals!

From
the Edo-Tokyo Museum
Collection

江戸東京博物館
コレクションより

江戸百景

2025年

7月25日(金)

~

9月21日(日)

前期=7月25日(金)~8月24日(日)
後期=8月26日(火)~9月21日(日)
※前後期、一部の作品を入れ替えます。

開館時間=午前9時30分~午後6時(入室は午後5時30分まで)
※初日は開会式終了後に一般オープン

休館日=月曜日(8月11日、9月1日、9月15日は開館)、9月16日(火)



歌川芳春《Croue Soulie 仏蘭西大曲馬》(部分)
1871(明治4)年 [前期展示]

金沢(尾張屋)春吉
《今戸土人形 子持猫》(部分)
大正時代~昭和初期



《当世名馬揃》(部分)
1872~73(明治5~6)年頃
[前期展示]



歌川豊国(三代)・歌川国久
《江戸名所百人美女の内四ツ谷》(部分)
1858(安政5)年2月 [後期展示]



全て東京都江戸東京博物館蔵

歌川広重《名所江戸百景 浅草田雨酉の町詣》1857(安政4)年 [前期展示]



歌川豊国(三代)
《四季遊覧之内 弥生の汐干狩》(部分)
1847~52(弘化4~嘉永5)年
[前期展示]



金沢(尾張屋)春吉
《今戸土人形 虎(大)》(部分)
大正時代~昭和初期

歌川芳春
《Croue Soulie 仏蘭西大曲馬》(部分)
1871(明治4)年 [前期展示]



主催=富山県、どうぶつ百景実行委員会(富山県水墨美術館、北日本新聞社)、
東京都江戸東京博物館(公益財団法人東京歴史文化財団)、
NHK富山放送局、NHKエンタープライズ中部
制作協力=NHKプロモーション
協賛=医療法人財団五省会、中曽根進園、ユニゾン、リードケミカル
(五十音順)

富山県水墨美術館

THE SUIBOKU MUSEUM, TOYAMA

長く平和が続いた江戸時代、日本では都市の城下町などを中心に街並みが整備されましたが、人々は、暮らしの中で動物たちとどのように関わってきたのでしょうか。明治初期に来日した米国の動物学者、エドワード・S・モースは、日本人が親切に動物と接していることに驚いたといえます。町では道に座る犬や猫を邪魔しないように人々が通行していることや、動物を「さん」づけで親しみをこめて呼んでいることを記録に残しています。人々は、ともに生きる共同体として、動物たちに愛情をもって接していたのです。

本展は、2022年にパリで好評を博した「いきもの：江戸東京 動物たちとの暮らし」展を拡充した凱旋帰国展です。人と動物の暮らしと歴史を、東京都江戸東京博物館の収蔵品により紹介します。動物との暮らしを楽しむ人々がいきいきと描かれた作品や、工芸品や玩具のデザインに取り入れられた動物たちの姿など、60万点にも及ぶコレクションの中から選りすぐりの約230点が大集結します！



1



2



3



4



5



6



7

図版 1. 歌川豊国(三代)・歌川国久《江戸名所百人美女の内四ツ谷》1858(安政5)年2月〔後期展示〕 2. 歌川広重《名所江戸百景 高輪うしまち》1857(安政4)年4月〔後期展示〕
3. 勝川春章・北尾重政《『青楼美人合姿鏡』春夏》1776(安永5)年〔通期展示・場面替え〕 4. 《当世名兎搦》1872〜73(明治5〜6)年頃〔前期展示〕 5. 《鶯鷗詩絵印籠》江戸後期〜明治前期〔前期展示〕
6. 歌川豊国(三代)《四季遊戯之内 弥生の沙干狩》1847〜52(弘化4〜嘉永5)年〔前期展示〕 7. 歌川芳春《Croue Soulie 仏蘭西大曲馬》1871(明治4)年〔前期展示〕 8. 《木製玩具 黒猫》20世紀 すべて東京都江戸東京博物館蔵

関連行事

① 講演会

「江戸東京博物館コレクションにみる人々と動物」

8月8日(金) 午後1時30分開場、午後2時〜

講師=小山周子 氏

(東京都江戸東京博物館 学芸員)

会場=映像ホール

定員=70名(先着順)

※申込不要 ※聴講無料

※満席になり次第、入場を制限させていただく場合があります。

② ギャラリートーク

8月16日(土)、23日(土)、30日(土)、
9月6日(土)、13日(土)、20日(土)

各日午後2時〜

会場=展示室1・2

※申込不要 ※聴講無料

※要・本展観覧券(当日の使用済み半券可)

その他の関連行事の実施については、
富山県水墨美術館のウェブサイトやSNS、
北日本新聞でお知らせします。
最新の情報をご確認の上、ご来館ください。



8

観覧料: 一般 1,500(1,200)円 大学生 1,200(1,000)円 前売一般 1,200円 前売[前後期]セット券 2,000円

※()内は20人以上の団体料金。 ※小・中学生・高校生及びこれらに準ずる方、各種障がい者手帳をお持ちの方は観覧無料。 ※大学生券に該当する人の詳細については、ウェブサイト等でご確認ください。 ※リピーター割: 総合受付にて本展観覧券半券のご提示により、1枚につき1人団体料金(招待券及び無料の観覧券を除く) ※子育て応援割: 小学生以下の子どもと観覧される方は、子ども1人につき大人1人が団体料金でご覧いただけます。

【前売券販売所】 7月24日まで販売/富山県水墨美術館・富山県美術館・アーツナビ(富山県民会館・富山県教育文化会館・富山県高岡文化ホール・新川文化ホール)、北日本新聞社本社・西部本社・各支社、販売店、富山大和、BOOKS なかだ、文苑堂書店、明文堂書店、チケットびあ(Pコード 687-253)、ローソンチケット(Lコード 53328)※プレイガイドによっては、別途手数料がかかる場合があります。

※前売[前後期]セット券は、一部取扱いのない店舗があります。

常設展示 近代水墨画の系譜 下保昭作品 ※企画展の観覧券でご覧いただけます。
館内施設 茶室「墨光庵」(立礼席、薄茶とお菓子) ※土日祝日、8月9日〜17日の午前11時〜午後4時に営業
ミュージアムショップ「風花」 喫茶「自家焙煎・水出し珈琲」水の時計」

交通のご案内 【富山駅南口から】 ●市内電車(大学前行)「トヨタモビリティ富山 Gスクエア五福前(五福末広町)」下車、徒歩約10分
●地鉄バス③乗場から各方面行「五福末広町」下車、徒歩約10分/⑦乗場から四方・新桜谷町行、北代循環「畑中」下車、徒歩約10分
●タクシー約10分 【富山空港から】 タクシー約25分
【北陸自動車道】 富山IC、富山西ICから自動車約20分 【無料駐車場】 乗用車165台、バス7台

富山県水墨美術館
THE SUIBOKU MUSEUM, TOYAMA

〒930-0887 富山市五福777 Tel. 076-431-3719 Fax. 076-431-3720 <https://www.pref.toyama.jp/1738/>

次回企画: 日本画×始動(blooming)展 10月17日(金)〜12月14日(日)

